8
vol.234
広報　縄文村だより vol.234（８月号）
Jomon Times
令和７年８月１日
●編集・発行●
奥松島縄文村歴史資料館
東松島市宮戸字里81-18
TEL 88-3927 FAX 88-3928

縄文の塩作り

①製塩土器作り

もっとも過酷な挑戦が、
今年も始まる…！！

６月 29 日㈰、「縄文の塩作り・第１回製塩土器作り」を開催しました。近年の猛暑で年々過酷な体験となっていますが、その人気は増すばかり…！！今年は 40 名が集まりました。

シンプルだけど難しい…。縄文人のスキル、おそるべし！

今年は半数以上が初参加！どんなふうに塩を作るのか興味津々です。まずは学芸員が「縄文時代の塩作り」と題した講座を行い、塩作りの方法や製塩土器について詳しく解説しました。

薄く壊れやすい土器のため、ひとり２つ以上完成させることを目標に、土器作りスタート！

見た目がとてもシンプルな製塩土器。皆さん理想とする形を思い描きますが、高さが出なかったり、厚みが均等にならなかったり、倒れそうになったり…と大苦戦。それでもなんとか作り上げ一安心の皆さん。９月の塩作り本番を楽しみにしていました。

縄文時代の塩作り

縄文時代の塩は「土器で海水を煮詰める」という方法で作られ、時期的にも地域的にも、ごく限られた人々しか行っていませんでした。生きていくために必要な塩分は、獣や魚介類から補給していたと考えられており、塩そのものの存在すら知らなかった縄文人が多かったものと思われます。**海辺に暮らした縄文人にとって「塩」とはどんな存在だったのでしょうか？**

塩の一大産地、松島湾

塩作りが行われた地域は、霞ヶ浦沿岸および福島県沿岸から、陸奥湾にかけての太平洋沿岸に点在しています。中でも、松島湾沿岸は塩の一大産地であり、縄文時代晩期から弥生時代中期にかけて、最も盛んに塩作りが行われた地域でした。約 50 カ所の製塩遺跡が見つかっています。

▲塩の生産地

里浜貝塚でも、縄文時代晩期から弥生時代中期にかけて塩作りが盛んに行われました。里浜貝塚西畑北地点（約 2,800 年前～ 2,200 年前）では、層をなして製塩土器が大量に見つかりました。同地点からは、海水を煮詰めるための炉（製塩炉）の跡も見つかっています。

▲製塩土器の出土状況

遠く山まで運ばれた塩

松島湾でつくられた製塩土器は、里浜貝塚から約 30km 離れた摺萩遺跡（大和町）、北小松遺跡（大崎市）や山を越えて約 60km も離れた山形県の漆坊遺跡（尾花沢市）、宮の前遺跡（村山市）でも発見されています。どうやら里浜ムラをはじめ松島湾に暮らした縄文人たちは、鳴瀬川を辿り、塩がついたままの土器を山間のムラまで運んでいたようです。松島湾で見つかる製塩土器の出土する遺跡数や消費量からも、自分達だけで消費するためだけとは考えにくく、**海辺のムラと他のムラと交流する際の「交易品（特産品）」だったことが分かります。**

かわりに、里浜貝塚で多く見つかっている山形県最上川流域で採れる「頁岩（石器の材料）」を物々交換で手に入れていたものと考えられます。

▲他遺跡で出土した製塩土器の底

なつやすみは おいでよ、縄文村へ！

8.9 SAT -8.12 TUE

8.11は入館＆体験無料！

受付時間 9:30-14:30
8.11 のみ 10:00-14:30
参加費： 入館料＋体験料

夏休みのおでかけは縄文村へ！予約なしでいろんな体験が楽しめます！８ /11 はどなたも「入館＆体験無料」になるスペシャルデーです。

期間中、毎日できます！

勾玉作り

¥400
石を削ってお守りを作ろう。

火おこし

¥150
自分の力で火を起こそう。

シカ角ストラップ

¥400
シカの角を砥石で削ろう。

貝塚ガイドツアー

¥0 10:00/11:00
里浜貝塚に行ってみよう。

ギャラリートーク ¥0 13:00/14:00 資料館内を学芸員が解説。

ご注意 火おこしは【強風】【雨天】の場合、中止します。

日替わり特別メニュー♪

8.9 SAT

コハクの勾玉 ¥2,000
釣針作り ¥500

8.10 SUN

木簡作り ¥200

8.12 TUE

貝輪作り ¥300